

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38110	
事業名	バイオ企業等育成支援費						
評価担当課	所属	経)経済戦略推 イノベーション			電話番号	011-211-2379	
施策名	IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業が、国						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	市内には北海道大学をはじめとする先端的研究を行う大学・研究機関が集積しており、革新的な研究・技術の創出が期待されるとともに、高齢化の進展を背景に、本分野は「第2次産業振興ビジョン」において重点分野として位置づけられており、今後の成長が期待される。これまで補助金支援等により研究・技術シーズの発掘や産学連携の促進が進んできたが、今後は発掘したシーズを事業化まで育成することが重要となる。研究開発の事業化は、大きな売上と雇用創出による地域経済への波及効果が期待できる一方、多くの時間と費用を要するため、本分野の特性を踏まえた各種支援策の展開が必要である。					
	事業内容(何を実施し)	(1)研究開発補助:市内企業や研究者に対して各種補助金による支援。①研究シーズ発掘補助、②事業化支援補助、③先端プロジェクト産業応用検証補助(感染症、デジタルヘルス領域)、④医療連携事業創出補助(医療ニーズ)の実施。 (2)ヘルスケアビジネスモデル構築支援:市内企業等に対して補助金とハンズオンの複合支援を実施。 (3)ビジネス機会拡大支援:市内企業に対して国内及び海外展示会出展支援を実施。 (4)バイオベンチャー育成支援:市内企業や研究者に対して、事業ステージに応じた事業壁打ち、専門家派遣、経営人材マッチング等の各種支援を実施。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市内には先端的研究を行う大学や研究機関が集積しているという強みがあり、特に高齢化を背景に成長が期待される「健康福祉・医療」及び「バイオ」分野において、関連企業等に対して研究開発補助を中心とした各種支援を実施することで、健康医療バイオ産業の活性化を図り、札幌の新たな基幹産業として育成する。					
	他都市の状況	川崎市、神戸市、京都市、福岡・久留米市などの各自治体において、「健康福祉・医療」及び「バイオ」関連企業の研究開発、ビジネス機会拡大等に対する支援を実施。					
	市民参加の実施	□ 企画 □ 実施 □ 評価 ■ 対象外					
令和5年度決算額	88,217 千円	うち特定財源	7,500 千円	正規職員業務量	2.1 人工		
令和6年度予算額	93,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2.1 人工		
令和6年度決算額	87,298 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和7年度予算額	89,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
指標	アウトプット活動指標1	補助採択件数(累計)			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		63	88	99	118	148	178
	アウトカム成果指標1	バイオ産業の売上高			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		1,158	1,099	1,110	1,128	1,158	1,190
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	順調に推移しており、今後も目標に向けた推移を目指す。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	ビジネス機会拡大支援及びバイオベンチャー育成支援事業の一部実施手法を見直し。						
来年度以降の方向性	補助事業については業界の動向等を踏まえて、より効果的な支援ができるよう内容やスキームを引き続き検討していく。						